

教科目名 哲学特論 (Special Lecture on Philosophy)

学科名・学年 : 全専攻2年 (教育プログラム 第4学年 科目)

単位数など : 必修 2単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 堀 栄造

授業の概要			
現代哲学の主潮流の一つを成すドイツの哲学者エドムント・フッサールの創始した現象学の学問的方法論である現象学的還元が、どのように着想され、どのような構造をもち、どのような意義をもつのかを学ぶ。前半は講義形式をとり、後半は著作講読を輪番制で行う。授業全般を通じて、質疑応答などを通して相互に発言し合う機会を多く設け、活発な議論の展開となるように努める。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)	
(1) 学問的方法論は学問にとって生命線とも言うべきものである。フッサールの現象学の学問的方法論の形成を学ぶことによって、学問にとっての方法論の意義や重要性を理解する。(定期試験)			
(2) フッサールの著作の講読によって哲学的文章を通して西洋的思考および西洋の文化に直接接し、地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付ける。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	フッサールの経歴と前期思想	心理主義の克服と厳密な学について理解できる	【理解の度合い】
2	フッサールの中期・後期思想	本質直観, 形相的還元および超越論的還元について理解できる	
3	『論理学研究』の意図	『論理学研究』における還元の意味を理解できる	
4	『論理学研究』における還元	現象学的還元の着想	
5	現象学的還元の着想	内的時間意識の分析における現象学的反省や空想における反省について理解できる	
6	現象学的反省の確立		
7	現象学的反省の確立		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	経験的統覚を完全に遮断した現象学的統覚やエポケーの着想について理解できる	【理解の度合い】
10	フッサール著『現象学の理念』の講読	同上	
11	フッサール著『纯粹現象学および現象学的哲学の構想』の講読	自然的定立の徹底の変更としての「遮断」や「括弧入れ」, 超越論的現象学的エポケー, 等について理解できる	
12	同上		
13	同上		
14	同上		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	ノートをしっかり取り, 積極的に発言すること。		【総合達成度】
教科書	プリント配布。		
参考図書	堀栄造著, 『フッサールの現象学的還元』, 晃洋書房, 2003年。		
関連科目	哲学特論, 哲学概説, 思想史, 倫理, 米文学特論。		
総合評価	定期試験により評価する。評価が60点以上を合格とする。		
			【総合評価】 点